

【道徳・中1・「挑戦し続けること」 A希望と勇気、克己と強い意志】①

育成を目指す資質・能力

困難に直面しても、目標の達成に向けて前向きに挑戦し続ける村上清加選手の生き方について考えることを通して、困難に直面しても挑戦を続けることの大切さに気づき、目標に向けて強い意志をもち、前向きに努力していこうとする心情を育てる。

ICT活用のポイント

生徒が自己を見つめる場面において、考えを可視化し、思考の整理をする。

【導入】

事前アンケート結果を提示して
問題意識をもつ

挑戦し続けるためにはどのようなことが大切だろうか

【展開】

登場人物の生き方について話し合うことを通して、ねらいとする
道徳的価値の理解を深める

【まとめ】

挑戦することについて、今までの自分の考え方を振り返り、これからの生き方について考える

事例の概要

【導入】

- ・事前アンケート結果を大型モニターで提示して問題意識をもつ

【展開】

- ・教材文を読んだ初発の感想をデジタルホワイトボードに書き込む

【事例におけるICT活用の場面①】

- ・中心発問に対する考えをワークシートに記入する。記入後、学習支援ソフトに提出して画面共有をする 【事例におけるICT活用の場面②】
- ・共有画面を基に、話し合う

【まとめ】

- ・話し合いを通しての考えの変容を、展開時に記入したデジタルホワイトボードの付箋を動かす 【事例におけるICT活用の場面③】
- ・振り返りをする

【道徳・中1・「挑戦し続けること」 A希望と勇気、克己と強い意志】②

【事例におけるICT活用の場面①】



みなさんならチャレンジ
できますか

教材文を読んだ後の発問「みなさんならチャレンジできますか」について、できるかできないかという考えを、デジタルホワイトボードに、「できる」なら黄色の付箋に、「できない」なら水色の付箋に、迷っているのなら黄緑の付箋に出席番号を書くことで、生徒の考えを整理、可視化することができる。その後、それぞれの理由を発表する。

【可視化】【思考の整理】

【事例におけるICT活用の場面②】



中心発問「村上さんが挑戦し続けているのはなぜだろうか」について、自分自身の考えをワークシートに記入する。記入後、学習支援ソフトに提出して画面共有をする。画面共有で友達の多様な意見に触れ、それを基に、話し合うことで、自分事として考えられるようになったり、多面的・多角的な考えをもてるようになる。

【共有】

【事例におけるICT活用の場面③】



みなさんならチャレンジ
できますか

話し合いをした後に、再度同じ発問「みなさんならチャレンジできますか」について、考えに変容があったとき、展開時に記入したデジタルホワイトボードの付箋【事例におけるICT活用の場面①】を動かすことで、生徒の考えを整理、可視化することができる。その後、それぞれの理由を発表する。

【可視化】【思考の整理】

【活用したソフトや機能】

・アンケート ・デジタルホワイトボード ・写真 ・学習支援ソフト